

SHARP®

取扱説明書

LED看板照明(屋内用)

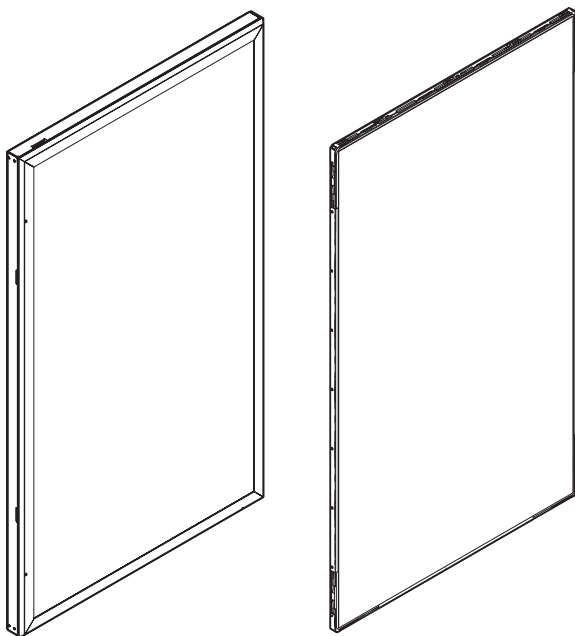
形名

^{ワイエス} ^{エフ} ^{ファイ}
YS-60F5V(フレーム一体型)

YS-70F5V(フレーム一体型)

^{ワイビー} ^{エフ}
YB-60F5(バックライトユニット)

YB-70F5(バックライトユニット)



もくじ

安全上のご注意	2～4 ページ
使用上のご注意	5 ページ
付属品	6 ページ
ストッパーの取付方法	6 ページ
外形寸法図	7～8 ページ
壁への設置方法	9～11 ページ
コルトンフィルムの取付方法	12 ページ
電源を入れる / 切る	13 ページ
明るさを調整する	14 ページ
アフターサービスについて	15 ページ
おまな仕様について	16 ページ
お問い合わせについて	16 ページ

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に「安全上のご注意」(→ 2 ページ) を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- モデル名、電機定格、安全表示、商標などが記載されているモデルラベルは、裏面にあります。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
デジタル情報家電事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地



TINS-G018WJN2
13P11-JP-KD

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

免 責 事 項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。



記号は、気をつける必要があることを表しています。

図記号の意味



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告



指示

設置は、必ず専門の工事業者に依頼する

- ・設置には特別な技術が必要です。お客様自身による設置は行わないでください。
- ・設置に不備があると、転倒や落下により、けがの原因となります。設置不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。



指示

振動が少なく、本機の質量に耐える場所に設置する

- ・落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない

- ・落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

異物を入れない

- ・通気孔(裏ぶたのすき間)などからもの(可燃性・導電性のものを含む)を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



分解禁止

分解しない

- ・安全上問題が生じますので分解は絶対に行わないでください。
- ・調光基板用のネジ以外は取り外さないでください。(YB-60F5/YB-70F5)
- ・バックライトユニット部固定用ネジ以外は取り外さないでください。(YS-60F5V/YS-70F5V)



ホコリを取る

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



AC100ボルト/単相200ボルト以外禁止

AC100ボルト/単相200ボルト以外の電圧で使用しない

- ・火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

- ・電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードに重いものを載せない


- ・火災・感電の原因となります。





指示


本機を使用する際は、設置場所に確実に固定されていることを確認する


- ・固定されていない場合は、転倒や落下によりけがの原因となります。


 **分解禁止**
本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない
・内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理はご購入先にご依頼ください。


 **屋外など、看板に水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない**
水ぬれ禁止・火災・感電の原因となります。


 **本機を風呂やシャワー室のような湿気の多いところでは使用しない**
風呂、シャワー室での使用禁止
・火災・感電の原因となります。


 **落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く**
電源プラグ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。修理はご購入先にご連絡ください。


 **煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く**
電源プラグ・異常の状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をご購入先に依頼してください。
・お客様自身による修理は絶対におやめください。

 **内部に水や異物が入ったときは、電源プラグを抜く**
電源プラグ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。ご購入先にご連絡ください。


 **雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない**
接触禁止
・感電の原因となります。

 **使用中に本機を布や布団などで覆ったり包んだりしない**
禁止
・熱がこもって、火災の原因になります。


 **異常に温度が高くなるところには置かない**
禁止
・特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
・また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

 **禁止**
航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや、制御などを目的とした使用はできません。


コイン型リチウム電池の取り扱いについて

 **指示**
電池を交換するときは、日立マクセル製のコイン型リチウム電池(CR2025)をご使用ください。
・指定以外の電池をご使用になった場合には、電池の破裂、液漏れによる火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

 **禁止**
電池を火の中に入れてたり、加熱したりしない
・破損して事故の原因となります。

 **指示**
電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

・電池を入れたままにしておくと、電池が液漏れする恐れがあります。この液が皮膚や衣服についたら、水道水などきれいな水で洗い流してください。万一、液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに多量の水水道水などのきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

 **指示**
電池は、乳幼児の手の届かない所に置く
・誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。



禁止

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

・発熱して火災の原因となることがあります。ご購入先に交換の依頼をしてください。



確実に
差し込む

電源プラグは確実に差し込む

・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。
・また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



ぬれ手
禁止

ぬれた手でコンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

タコ足配線をしない

・火災・感電の原因となることがあります。
・



禁止

電源コードを熱器具に近づけない

・電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止

湿気やホコリの多いところ、油煙や湯気が当たるところ、発熱機器の近くに設置しない

・調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

風通しの悪いところに設置したり、じゅうたんや布団の上に置かない

布などをかけない

・通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



注意

通気孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く

内部の清掃はご購入先に依頼する

・内部や通気孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜く

お手入れのときや長期間使用しないときは、安全のため電源プラグを抜く

・感電・火災の原因となることがあります。



指示

扉やバックライトユニット部を開いて作業を行うときは必ずストッパーで固定する

・作業中に誤って扉やバックライトユニット部を閉めてしまった場合、けがや破損の原因となります。



表示どおり
に入れる

極性（プラス⊕とマイナス⊖）の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

・間違えると電池の破損、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

電池の入ったリモコンや電池は、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しない

・電池の液漏れ、発熱、破裂させるおそれがあります。



禁止

電池をショートさせない

・金属やピンなどでプラス⊕とマイナス⊖面を接触させてしまうなどショートさせないでください。発熱、破裂、発火させるおそれがあります。



禁止

充電しない

・充電構造になっていないので充電すると液漏れ、発熱、破裂、発火につながり危険です。



禁止

電池を変形させない

・電池を投げつけたり、高いところから落としたり、押しつぶしたりして変形させると液漏れ、破裂などを起こす場合があります、危険です。

電池の廃棄について

プラス⊕とマイナス⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

設置について

- 設置の前に『安全上のご注意』2～4ページをお読みください。
- 設置について5～11ページをご覧ください。
- 設置の前に商品に運送事故等による破損・異常が無いが、またランプは点灯するかの確認を行ってください。
- 設置は、必ず専門業者に依頼し、専門業者の責任において行ってください。
- 電源配線工事は、専門業者にご依頼ください。一次側電源工事およびアース工事は電気工事士が行ってください。
- 作業は、取扱説明書に従い、安全に留意して行ってください。
- ネジ(ボルト)ナット等は正しいものを使用し、確実に締めこんでください。ゆるんでいると落下の原因となります。
- 作業は人通りや、周囲の状況を配慮し、支障のない場所で、安全に十分注意して行ってください。(重量物は必ず2人以上で作業を行ってください)
- 手を傷つける場合がありますので、設置作業を行うときは、手袋などで保護してください。
- 本体および部品の改造は行わないでください。電気部品の故障となるだけでなく、落下、感電、火災、強度低下、故障、事故の原因となります。また、本機の性能を損なうおそれがあります。
- 環境条件にご注意ください。本機は屋内専用です。直射日光や雨風を避けて設置してください。
- 設置場所にご留意ください。人通り、周囲の環境に十分配慮し、安全な場所に設置してください。当たると、けがをしたり、衣類を破いたりする場合があります。
- 人通り、周囲の環境に十分配慮し、コルトンフィルムの入れ替え作業等に支障のない場所に設置してください。
- 設置面の材質・状態をご確認ください。本機の質量に耐えられる壁面に設置してください。
- 器具へのあと加工(穴あけ、金具の取り付け)の際、切り屑や器具の変形は故障の原因となります。
- YS-60F5V/YS-70F5V(フレーム一体型)は縦設置専用です。(横設置はできません)
- 調光基板のリード線は強く引っ張らないでください。(YB-60F5/YB-70F5)
- 調光基板を別の場所に設置するときは、リード線を金属部分に誤って挟み込んだり、金属の端や角の鋭利な部分と接触しないように十分注意してください。また、リード線を保護する対応をしてください。断線して故障の原因となります。(YB-60F5/YB-70F5)

ご使用に際して

- 本体の下に物を置かないでください。予期せぬ事態で本体が脱落することも想定されます。

- 本体やコルトンフィルムがしっかり固定されているか確認してください。
- 本体内部の乳半板 / 導光板に物をぶついたり、たたいたり、物で突いたりしないでください。傷がつく、割れるなど破損の原因となります。
- 本体の近くにマグネットなどを近づけないでください。故障の原因となります。
- 故障、破損、部品の紛失等があったときは、ご購入先に依頼し、新しい部品と交換してください。
- 扉を閉じる際は、扉を持ち上げて閉じてください。(YS-60F5V/YS-70F5V)
- 透明アクリル板とドアフレームは傷つきやすいので、取り扱いには十分注意してください。(YS-60F5V/YS-70F5V)

お手入れのしかた

- 本体のお手入れは、電源を切った状態で行ってください。
- 定期的な点検を行ってください。
- 汚れは柔らかい布(綿、ネル等)で軽くふき取ってください。ベンジン、シンナーなどでふいたり、化学雑巾(シートタイプのウェット・ドライのものも含む)を使うと、本体の成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、本体や乳半板 / 導光板の表面が傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布(綿、ネル等)をよく絞ってふき取り、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

損害について

- お客様、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時の注意事項 (設置業者様用)

- 設置や取り外し、移動の際は、2人以上で行ってください。
- 本機の4倍の質量に耐える場所に設置してください。

付属品

- 箱を開けて、本機とつぎの付属品がそろっているか確認してください。

■リモコン(YS-60F5V/YS-70F5V)

- 電池はリモコンに内蔵しています。



※ 電池を交換する際は、日立マクセル製のコイン型リチウム電池 (CR2025) とお取り替えください。

■電源コード × 2

平型 2ピン+アースピンタイプ × 1(AC100V 用)
3ピンロック式タイプ × 1(単相 200V 用)

注意：

付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。

■ 3ピンロック式タイプ電源コード用クリップ (YS-60F5V/YS-70F5V)

■取扱説明書

■保証書

■サービス用シール

- 形名とシリアル番号が記載しています。
- サポートや修理の際必要となりますので、確認できる場所に貼り付けてください。

ストッパーの取付方法 (YS-60F5V/YS-70F5V)

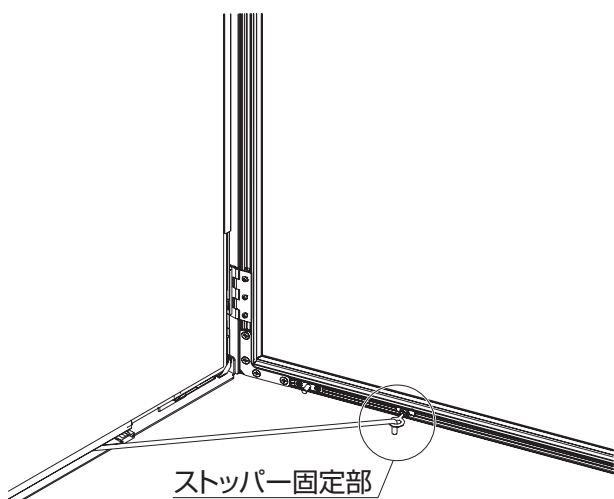
ご注意



- 主電源スイッチを切るときや、メンテナンス等でバックライトユニット部を開く場合は、扉用ストッパーを外した状態で開いてください。扉用ストッパーを取り付けた状態でバックライトユニット部を開くと、扉用ストッパーに当たり傷や破損の原因となります。
- 作業時は閉じ込み防止のため、ストッパーを取り付けてください。

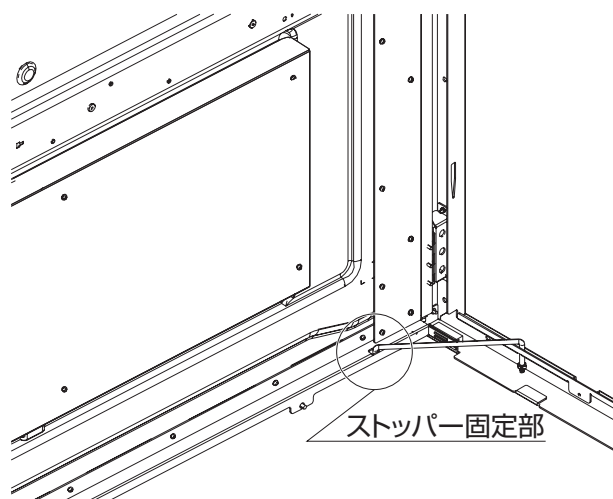
扉用ストッパー

- フレーム右下にあるストッパーを扉のストッパー固定部に取り付けます。



バックライトユニット部用ストッパー

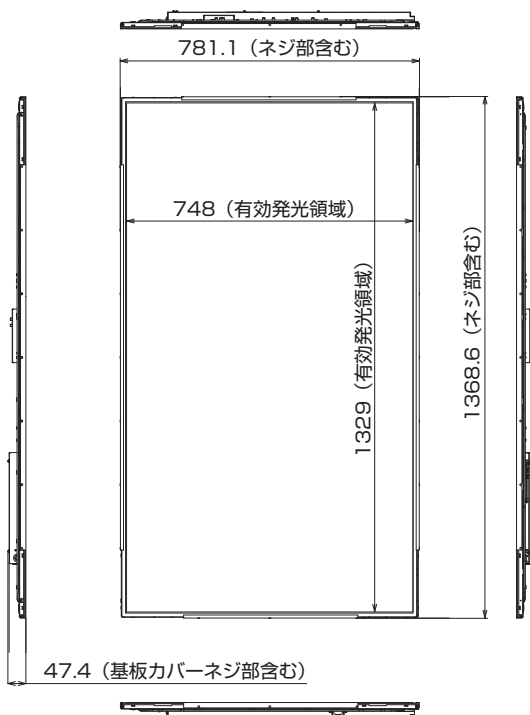
- フレーム左下にあるストッパーをバックライトユニット部のストッパー固定部に取り付けます。



外形寸法図

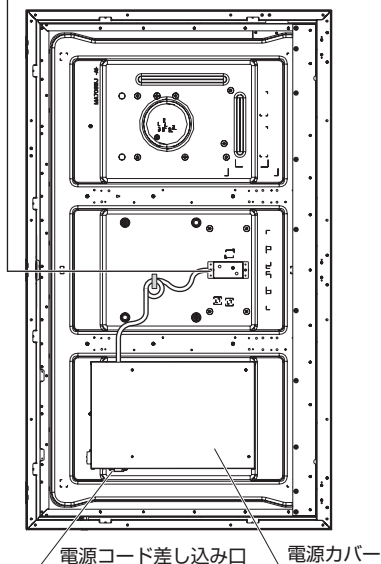
YB-60F5

(単位：mm)



調光基板※

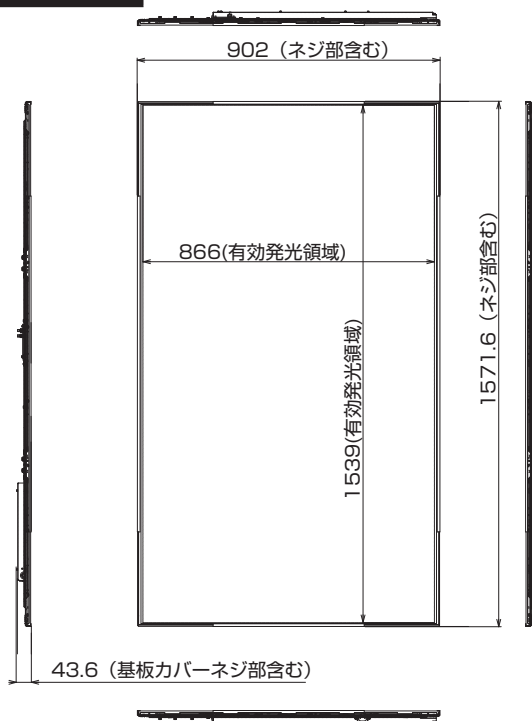
※調光基板は本体裏面から取り外して、1.3mのリード線の接続範囲で別の場所に設置することができます。設置は必ず専門の工事業者に依頼してください。



※ご注意

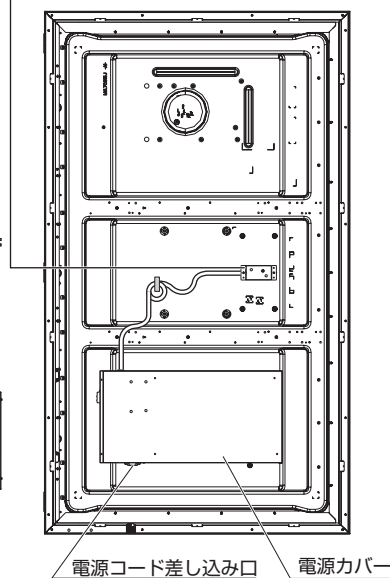
- ・調光基板のリード線は強く引っ張らないでください。
- ・調光基板を別の場所に設置するときは、リード線を金属部分に誤って挟み込んだり、金属の端や角の鋭利な部分と接触しないように十分注意してください。また、リード線を保護する対応をしてください。断線して故障の原因となります。

YB-70F5



調光基板※

※調光基板は本体裏面から取り外して、1.3mのリード線の接続範囲で別の場所に設置することができます。設置は必ず専門の工事業者に依頼してください。

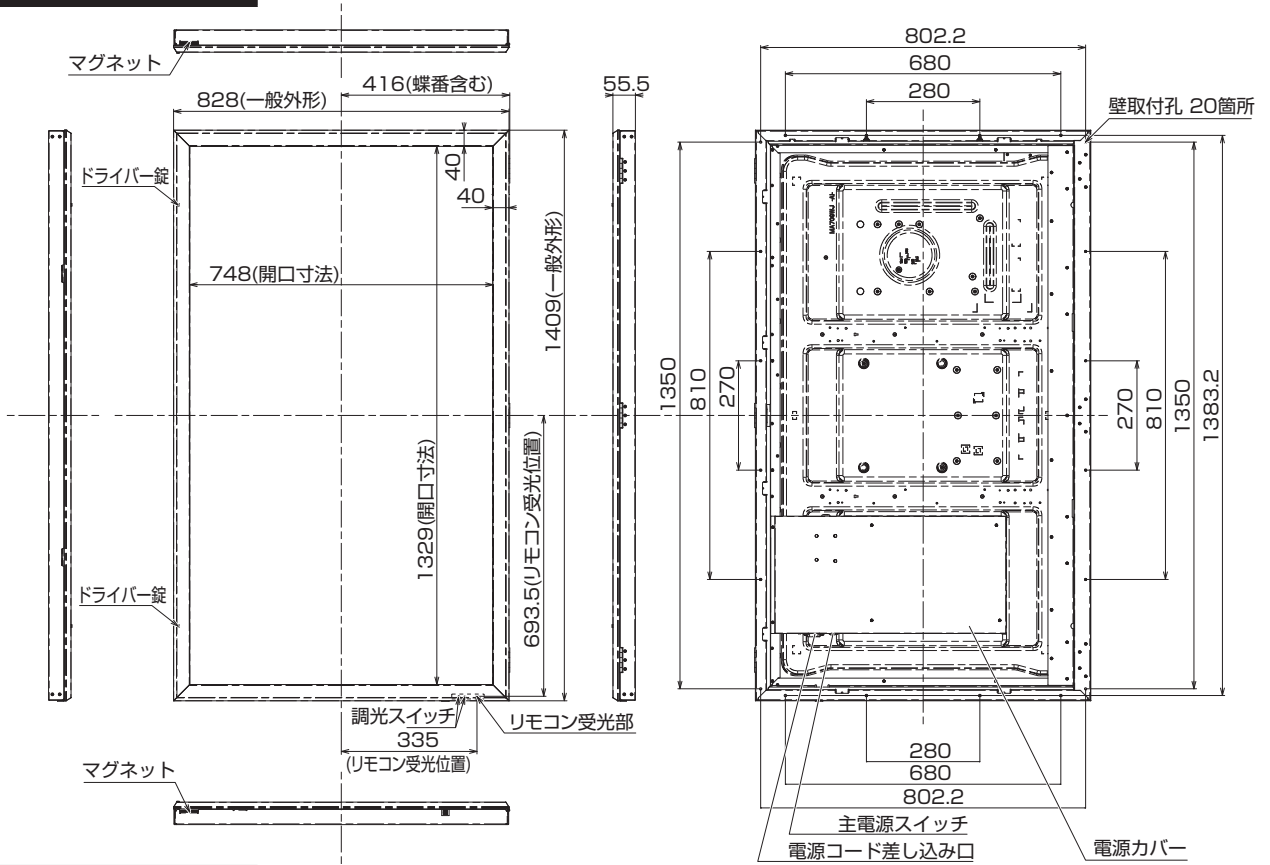


※ご注意

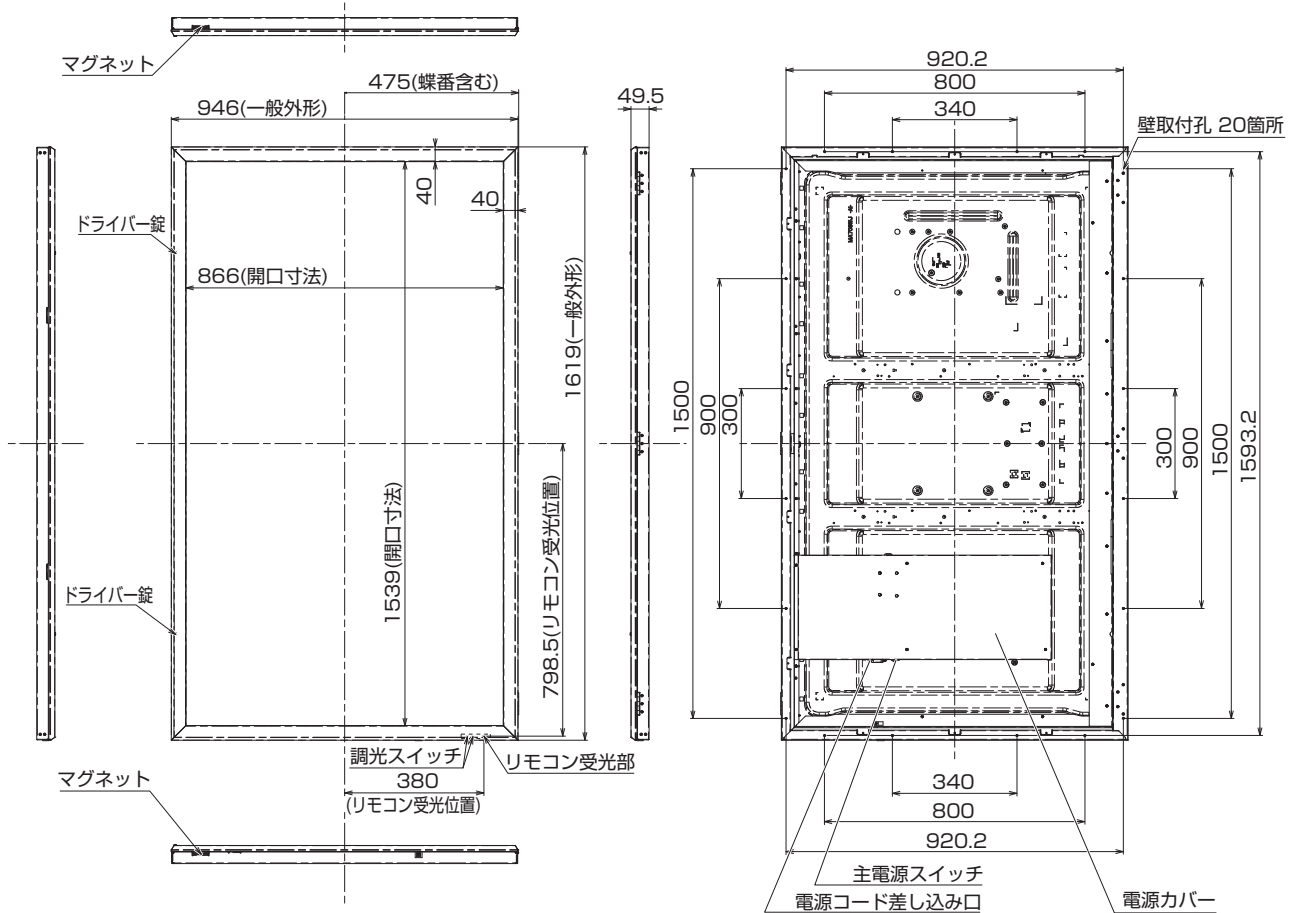
- ・調光基板のリード線は強く引っ張らないでください。
- ・調光基板を別の場所に設置するときは、リード線を金属部分に誤って挟み込んだり、金属の端や角の鋭利な部分と接触しないように十分注意してください。また、リード線を保護する対応をしてください。断線して故障の原因となります。

YS-60F5V

(単位：mm)



YS-70F5V



壁への設置方法

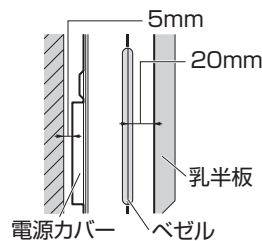
YB-60F5/YB-70F5

・アングル、フレーム等バックライトユニット部取付機材、乳半板はお客様でご用意ください。

設置時のご注意



- ・設置の際は電源ケーブルと壁との距離を 5mm以上離し設置してください。
- ・乳半板を取り付ける際は、ベゼルより 20mm以上離して取り付けください。20mm未満で取り付けが必要な場合は、ご購入先にご相談ください。
- ・電源コード、調光基板用リード線を挟まないように注意してください。
- ・本体の質量の 4倍に耐えられる場所に設置してください。
- ・電源コードは必ず付属のものを使用してください。
- ・取付角度は垂直にしてください。



警告

電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。

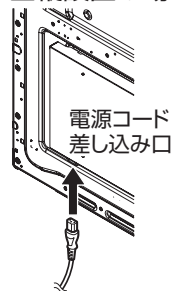
- ・付属の電源コードは、平型2ピン+アースピンタイプは AC100V用、3ピンロック式タイプは単相 200V用です。
- ・指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

設置方法

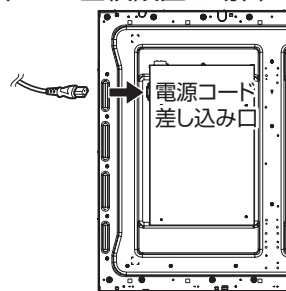
1 電源コードを電源コード差し込み口に接続する

- ・電源コードは、電源コード差し込み口に確実に差し込んでください。
- ・縦向きに設置するときは、電源コード差し込み口が下にくるように設置してください。
- ・横向きに設置するときは、電源コード差し込み口が上にくるように設置してください。

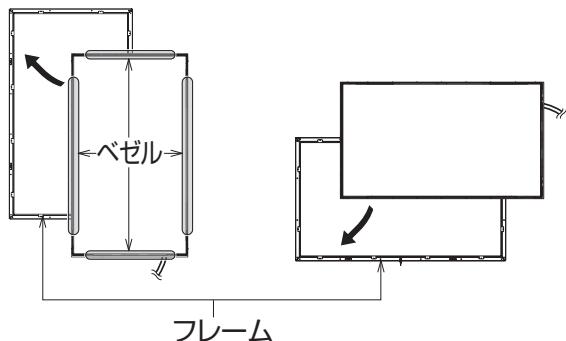
■縦設置の場合



■横設置の場合



2 アングル、ネジなどでフレーム等に固定する

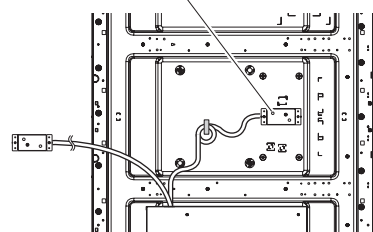


ネジなどを用いて固定する場合に、ネジの寸法等が分からないときは、工事業者にお問い合わせください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源が入ります。明るさの調整は『明るさを調整する』を参照してください。

調光基板

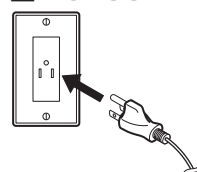


- ・調光基板は本体裏面から取り外して、1.3mのリード線の接続範囲で別の場所に設置することができます。設置は必ず専門の工事業者に依頼してください。

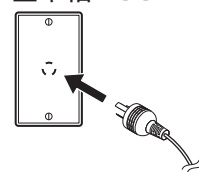
ご注意

- ・調光基板のリード線は強く引っ張らないでください。
- ・調光基板を別の場所に設置するときは、リード線を金属部分に誤って挟み込んだり、金属の端や角の鋭利な部分と接触しないように十分注意してください。また、リード線を保護する対応をしてください。断線して故障の原因となります。

■ AC100V

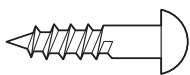


■ 単相 200V



設置時のご注意

ご用意いただくもの
(M4/市販品)



• 本体取付用ネジ×20本

壁の材質や強度に応じて、使用するネジの種類、本数および長さが異なります。ご用意いただく際は、工事業者や工事店にご相談ください。



- 電源コードを挟まないように注意してください。
- 本体の質量の4倍に耐えられる場所に設置してください。
- 電源コードは必ず付属のものを使用してください。
- 壁に埋め込んで設置する場合は、埋め込む深さをYS-60F5Vは31mm以下、YS-70F5Vは25mm以下で設置してください。上記よりも深く埋め込むと、扉が開かなくなる可能性があります。
- 取付角度は垂直にしてください。
前のめりに設置した場合、バックライトユニット部固定用ネジを取り外したとき、バックライトユニット部が開いてしまい、傷つけたり、けがの原因となる場合があります。
- バックライトユニット部固定用ネジは、壁面取り付け後に取り外してください。
- 主電源スイッチを切るときや、メンテナンス等でバックライトユニット部を開く場合は、扉用ストッパーを外した状態で開いてください。扉用ストッパーを取り付けた状態でバックライトユニット部を開くと、扉用ストッパーに当たり傷や破損の原因となります。
- 作業時は閉じ込み防止のため、ストッパーを取り付けてください。
- 扉用ストッパー、バックライトユニット部ストッパーの取付方法は「ストッパーの取付方法」をご参照ください。



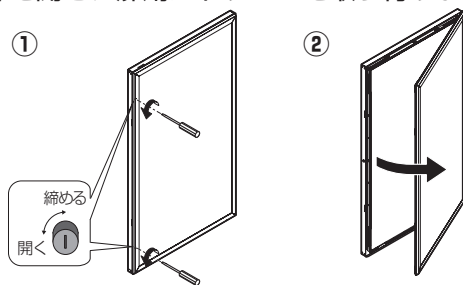
電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。

- 付属の電源コードは、平型2ピン+アースピンタイプはAC100V用、3ピンロック式タイプは単相200V用です。
- 指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

設置方法

1 ドライバー錠を開け、扉を開く

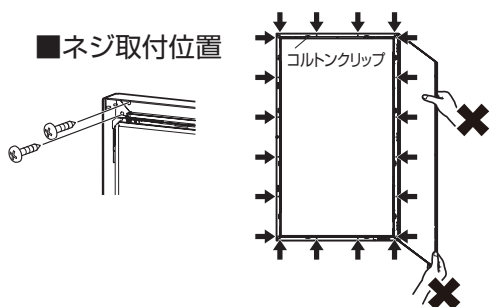
- ① ドライバー(マイナス)またはコインを本体左側上下にある錠穴に差し込み、ドライバー錠を開けます。
- ② 扉を開き、扉用ストッパーを取り付けます。



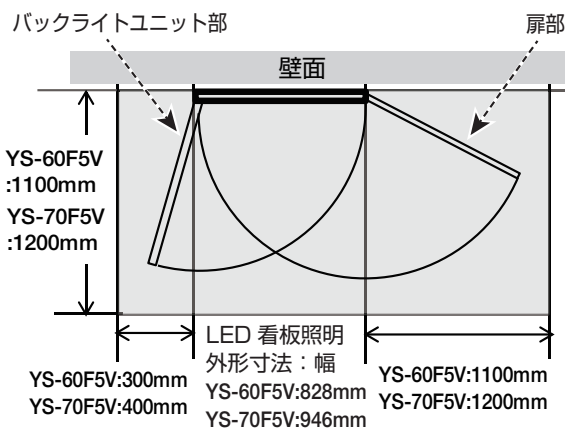
2 パネルを直付用ネジ(市販品/M4)で壁面に取り付ける

コルトンクリップが上になるよう設置し、市販のネジ(M4)20本で壁面に取り付けます。

■ネジ取付位置



壁面取り付け時上面から見た図



本機は、扉及びバックライトユニット部の開閉を行なうため、設置時に上記の空間を確保ください。



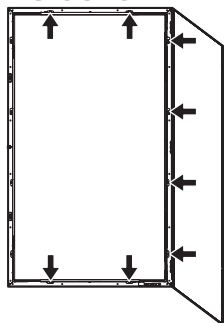
- 設置作業時に扉部分を持たないようにしてください。フレームが変形するなどの原因となります。

3 電源コードを電源コード差し込み口に接続する

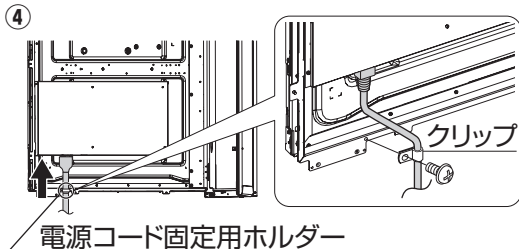
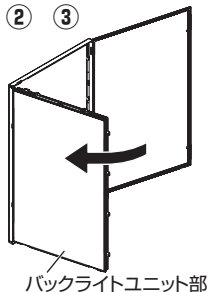
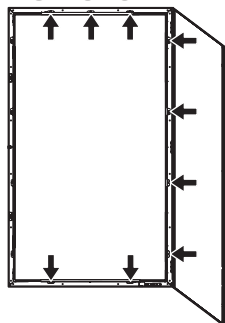
- ①バックライトユニット部固定用ネジ（YS-60F5Vは8本、YS-70F5Vは9本）を取り外します。
- ②扉用ストッパーを取り外し、バックライトユニット部を開き、バックライトユニット部用ストッパーを取り付けてバックライトユニット部を固定します。
- ③扉用ストッパーを取り付け、扉を固定します。
- ④電源コードを本体に接続し、電源コード固定用ホルダーに取り付けてあるクリップのネジを外し、電源コードを挟み込み、再度ネジで固定します。
※200V用電源コードの場合は、付属の3ピンロック式タイプ電源コード用クリップに取り替えてください。

■ネジ取付位置

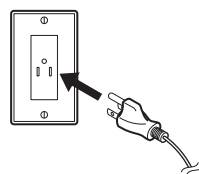
① YS-60F5V



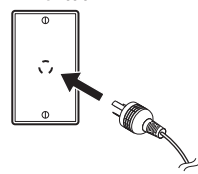
YS-70F5V



■ AC100V



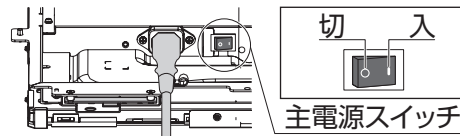
■単相200V



4 電源プラグをコンセントに差し込む

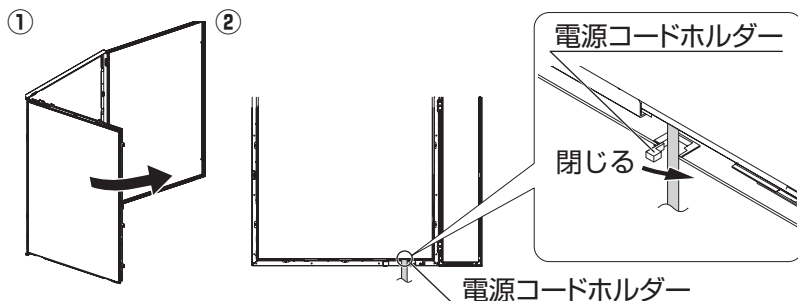
5 主電源スイッチを入れる

主電源スイッチを入れると電源が入ります。
電源が入らないときは、リモコンの電源ボタンを押します。
明るさの調整は『明るさを調整する』を参照してください。



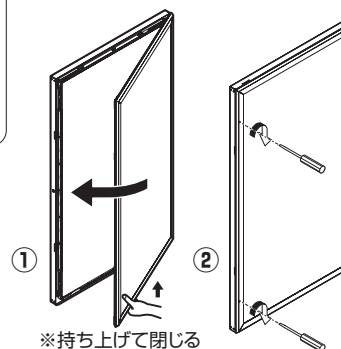
6 バックライトユニット部を閉じ、電源コードを電源コードホルダーに通す

- ①扉用ストッパーとバックライトユニット部用ストッパーを取り外し、バックライトユニット部を閉じます。
- ②再度扉用ストッパーを取り付け、電源コードを電源コードホルダーに通します。
- ③バックライトユニット部固定用ネジ数本で、バックライトユニット部を固定します。
※地震等でバックライトユニット部がガタつき、傷や破損の原因になる場合がありますので必ず数力は固定してください。残ったネジは、輸送時に使用しますので大切に保管してください。



7 扉を閉じ、ドライバー錠を締める

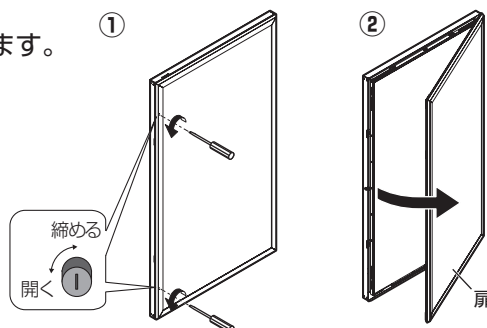
- ①扉用ストッパーを外し、扉は持ち上げて閉じてください。
扉に指などを挟まないよう注意して扉を閉じます。
- ②ドライバー錠を締めます。



コルトンフィルムの取付方法 (YS-60F5V/YS-70F5V)

1 ドライバー錠を開け、扉を開く

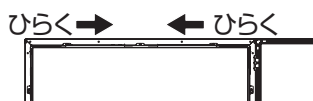
- ①ドライバー(マイナス)またはコインを本体左側上下にある錠穴に差し込み、ドライバー錠を開けます。
- ②扉を開きます。
- ③扉用ストッパーを取り付け、扉を固定します。



2 コルトンクリップをスライドさせ、コルトンフィルムを差し込む

本体上部にあるコルトンクリップ (YS-60F5V は 1 箇所、YS-70F5V は 2 箇所) をスライドさせ、コルトンクリップと乳半板のすき間にコルトンフィルムを差し込みます。

① YS-70F5V



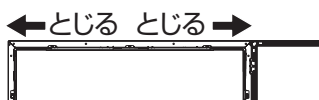
YS-60F5V



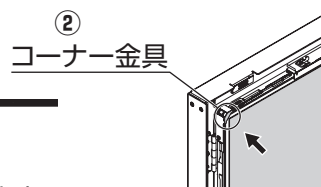
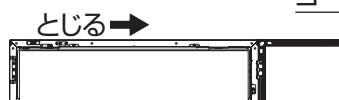
3 コルトンクリップをスライドさせ、コルトンフィルムを固定する

- ①コルトンクリップをスライドさせコルトンフィルムを固定します。
- ②バックライトユニット部四隅にあるコーナー金具にコルトンフィルムの端を挟み込みます。

① YS-70F5V



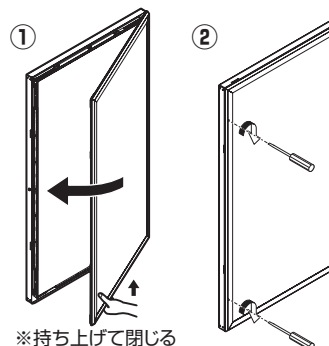
YS-60F5V



- ・環境や使用条件によりコルトンフィルムが伸縮する場合があります。
そのような場合は、コーナー金具にコルトンフィルムを挟み込まずに固定してください。

4 扉を閉じ、ドライバー錠を締める

- ①扉用ストッパーを外し、扉は持ち上げて閉じてください。
扉に指などを挟まないよう注意して扉を閉じます。
- ②ドライバー錠を締めます。



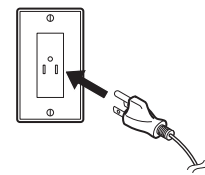
電源を入れる / 切る

YB-60F5/YB-70F5

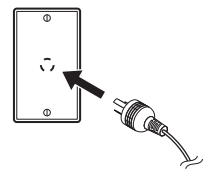
1 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源が入ります。
明るさの調整は『明るさを調整する』を参照してください。

■ AC100V



■ 単相200V



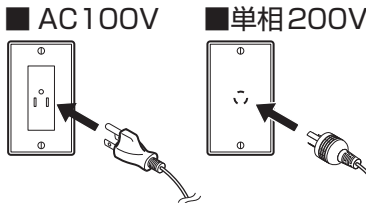
YS-60F5V/YS-70F5V



主電源スイッチを切るときや、メンテナンス等でバックライトユニット部を開く場合は、扉用ストッパーを外した状態で開いてください。扉用ストッパーを取り付けた状態でバックライトユニット部を開くと、扉用ストッパーに当たり傷や破損の原因となります。作業時は閉じ込み防止のため、ストッパーを取り付けてください。

リモコンで電源を入 / 切する

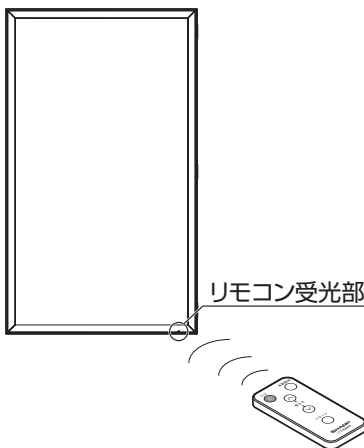
1 電源プラグをコンセントに差し込む



電源が入った状態で電源プラグを抜いて電源を切った場合は、電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源が入ります。

2 リモコンの電源ボタンを押し、電源を入れる

押すたびに電源が「入⇔切」します。



ご注意

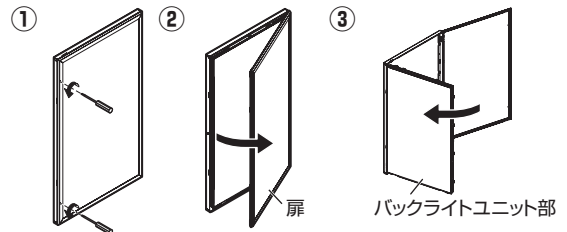
リモコンで電源を切り電源プラグを抜いた場合は、再度電源プラグを差し込んでも点灯しません。

リモコンで電源を入れてください。

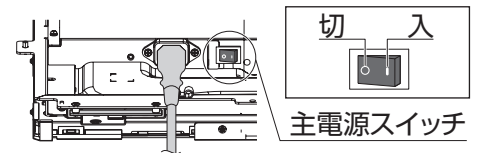
主電源スイッチを切るとき

1 扉を開き、バックライトユニット部を開く

- ① ドライバー（マイナス）またはコインを本体左側上にある錠穴に差し込み、ドライバー錠を開けます。
- ② 扉を開きます。
- ③ バックライトユニット部を開き、バックライトユニット部用ストッパーを取り付けます。
- ④ 扉用ストッパーを取り付けます。

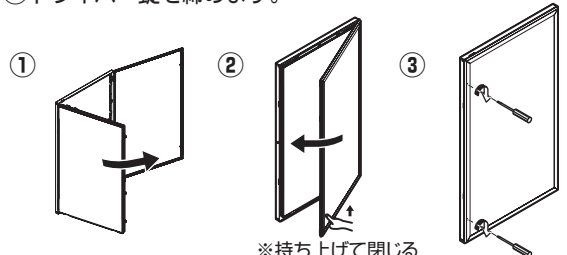


2 主電源スイッチを切る



3 バックライトユニット部を閉じ、ドライバー錠を閉める

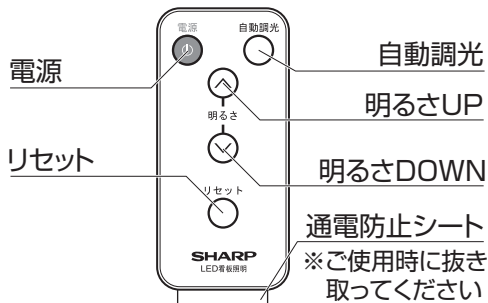
- ① 扉用ストッパー、バックライトユニット部用ストッパーを外し、バックライトユニット部を閉じます。
- ② 扉用ストッパーを外し、扉は持ち上げて閉じてください。扉に指などを挟まないよう注意して扉を閉じます。
- ③ ドライバー錠を締めます。



※持ち上げて閉じる

明るさを調整する

リモコン (YS-60F5V/YS-70F5V)



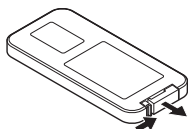
ボタン	操作内容
電源	電源入 / 切を切り替えます
明るさ UP	明るさを調整します 照度は 256 段階の調整が行えます
明るさ DOWN	押し続けると約 1 秒毎に 20 段階ずつ上げ下げできます。
リセット	照度を工場出荷状態に戻します
自動調光	本機では使用しません

■リモコン電池交換方法

- 電池を交換する際は、日立マクセル製のコイン型リチウム電池(CR2025)とお取り替えください。

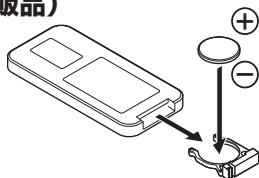
①裏ぶたを開ける

- つまみを内側に引っ張りトレイを引き出します。



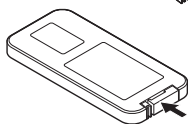
②電池を入れる(CR2025/ 市販品)

- 向きに注意し、表示どおりに正しくトレイに置いてください。

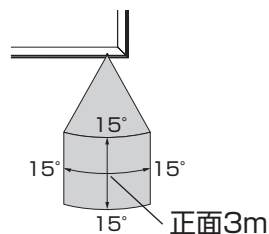


③裏ぶたを閉じる

- カチッと音がするまでトレイを確実に押し込んでください。



■リモコンで操作できる範囲

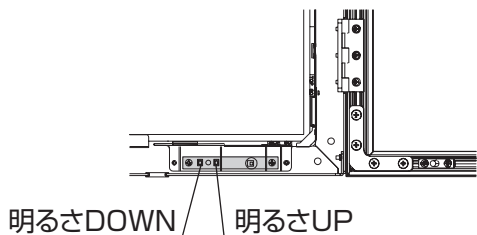


- リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。



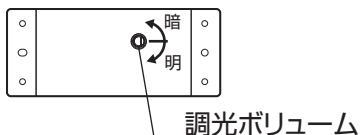
- 電池は、日光や火などの過度の熱にさらさないでください。
- 指定以外の電池をご使用になると、破裂する危険があります。
- 購入時は、通電防止シートが挟まっていますので、抜き取ってから使用してください。

本体キー (YS-60F5V/YS-70F5V)



キー	操作内容
明るさ UP	明るさを調整します 照度は 256 段階の調整が行えます
明るさ DOWN	押し続けると約 1 秒毎に 20 段階ずつ上げ下げできます。
明るさ UP + 明るさ DOWN (1 秒以上同時押し)	電源入 / 切を切り替えます

調光基板 (YB-60F5/YB-70F5)



ボリューム	操作内容
調光ボリューム	LED の明るさを調整できます 左へ回すと「暗く」、右へ回すと「明るく」調整

アフターサービスについて

保証書(別添)

■この製品には保証書がついています。

保証書は「お買いあげ日・ご購入先名」等の記入をお確かめのうえ、ご購入先から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■保証期間

お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

補修用性能部品の保有期間

■当社は、このLED看板照明の補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。

■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは **出張修理**

■異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入先にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品名：LED看板照明(屋内用)
- 形名：YS-60F5V/YS-70F5V/YB-60F5/YB-70F5
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご住所(付近の目印も合わせてお知らせください。)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・ご購入先名を記入されると便利です。

お買いあげ日	ご購入先名
年 月 日	電話() —

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

おもな仕様について

品名	LED 看板照明 (フレーム一体型)		LED 看板照明 (バックライトユニット)	
	YS-60F5V	YS-70F5V	YB-60F5	YB-70F5
有効表示寸法	1,329mm x 748mm	1,539mm x 866mm		
有効発光領域			1,329mm x 748mm	1,539mm x 866mm
コルトン外形寸法	1,353mm x 775mm*1	1,555mm x 896mm*1		
フレーム	アルミ			
面 板	厚さ 2mm 透明アクリル板、厚さ 3mm 乳半アクリル板			
フレーム開閉機構	扉方式			
取付方向	縦設置 (天地指定あり)		縦/横設置 (天地指定あり)	
調光方式	リモコンまたは本体キー		ボリューム	
導光板	厚さ 3mm アクリル			
光源	LED (色温度 約 5000K)			
使用電源	AC 100V/ 単相 200V・50/60Hz			
消費電力*2	49W*3	67W*3	49W	67W
照度*6	約 2000lx ~ 約 6000lx*4		約 2000lx ~ 約 6000lx*5	
外形寸法	幅 …………… 828mm	幅 …………… 946mm	幅 …………… 781.1mm	幅 …………… 902mm
	奥行 …………… 55.5mm	奥行 …………… 49.5mm	奥行 …………… 47.4mm	奥行 …………… 43.6mm
	高さ …………… 1,409mm	高さ …………… 1,619mm	高さ …………… 1,368.6mm	高さ …………… 1,571.6mm
質 量	約 28.5kg	約 36.5kg	約 12.0kg	約 15.5kg
使用温度条件	0°C ~ 40°C			
使用湿度条件	20% ~ 80%			

*1: フィルムの種類によっては、しわが発生する可能性があります。

*2: 照度最大状態での値です。

*3: リモコンで切にした場合は微小電力が消費されます。

*4: 明るさを調整した後、工場出荷状態に戻したいときは、リモコンのリセットボタンを押してください。

*5: 当社指定の乳半板 (全光線透過率 58%、厚さ 3mm) を YS-60F5V/70F5V と同じ環境で導光板上に設置した場合の測定値です。

*6: 照度は調整範囲の目安です。

■ JIS C61000-3-2 適合品

・ JIS C61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部: 限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相あたりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計、製造した製品です。

お問い合わせについて

修理・お手入れなどのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入先または 下記窓口にお問い合わせください。

【修理ご相談窓口】

おかけ間違いのないようご注意ください。



シャープビジネスソリューション株式会社

携帯電話からはナビダイヤル



0570-006-008 (沖縄地区を除く)

● 全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
● 携帯電話からもご利用いただけます。

■ PHS・IP 電話を… 043-332-9957 (東日本)
ご利用の方は 06-6794-9677 (西日本)

受付時間 ● 月曜～土曜: 9:00～17:40

(日曜・祝日など弊社休日とは休ませていただきます。)

■ 沖縄地区のかたは…

沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866

受付時間 ● 月曜～金曜: 9:00～17:40

(土曜・日曜・祝日など弊社休日とは休ませていただきます。)